武庫川女子大学大学院修士課程

男女共学

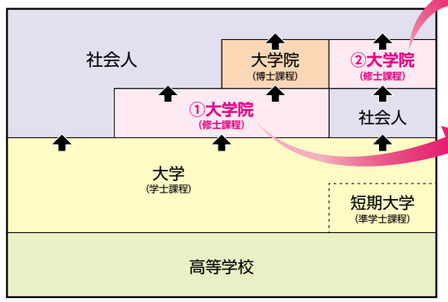
健康・スポーツ科学研究科
健康・スポーツ科学専攻

長期履修制度 | 昼夜・土曜開講

Mukogawa Women's University
Graduate School
of Health and Sports Sciences

健康・スポーツ科学の様々な分野で活躍できる研究力、実践力を育てる大学院

人生には複数のルートがあっていい！



学び直しがブレイクスルーを生み出す！

現場で生まれた問題意識を持って専門的な学びを深め、解決方法を見つけ出す

実社会での経験・体験が学びの必要性を生み出し、主体的な学びは現場での実践力をさらに高めていく好循環へとつながります。

その先の学びが将来の選択肢を増やす！

2年間専門的な学びを深めることで自分の価値を高め、将来の可能性を広げる

学士課程から修士課程への2年間が自分自身の将来を見つめ直す時間を生み出し、専門的な学びが新たな活躍分野の発見につながります。

大学4年間では見つけることができなかった「成り得る最高の自分」に出会うことができます。

一生を描ききる力をつけるための2年間があなたのAnother Storyを創り出す！

健康・スポーツ科学研究科の特色

1. 競技／指導を続けながら学べる
2. 働きながら学べる（3～4年の長期履修が可能）
3. リモートでも学べる（遠隔授業が可能）
4. 体育学と保健衛生学の2領域を学べる
5. 4分野の専門的な研究と学びがある
6. 納得のいく就職活動を2年間行える
7. 保健体育科専修免許を取得できる
8. 小学校教諭二種免許を取得できる
9. アスレティックトレーナーの実習時間を確保できる
10. 企業とのコラボレーションができる

主査と副査による丁寧な研究指導

国際・国内学会発表や参加支援

充実した教育・研究環境

リモートでも学べる

働きながら学べる

競技を続けながら学べる

研究科長からのメッセージ

本研究科の基礎となる健康・スポーツ科学部は、令和5年度から「健康・スポーツ科学科」並びに「スポーツマネジメント学科」の2学科体制で新たなスタートを切りました。このことから、本研究科の分野構成では“スポーツマネジメント学分野”を設けてスポーツや健康に関連するマネジメント問題を学術的知見に基づき、総合的に理解できるようにします。また“スポーツ教育学分野”では、学校体育、ないしは地域社会の健康・スポーツ教育における実践課題を構造的に理解し、課題解決のための教育学的原則、あるいは実践的方法論を幅広く理解できるようにします。“スポーツ科学分野”では、スポーツに関連する諸問題を自然科学、人文科学、社会科学の学術的知見に基づいて総合的に理解でき、なおかつそれらを基盤として基礎的研究から実践的応用へと幅広い研究に対応できる知識を身につけます。さらに“健康科学分野”では、健康科学分野に関連する諸問題を総合的に理解し、それらを基盤として基礎的研究から臨床的応用へと幅広い研究に対応できる知識を身につけます。

さて、中央教育審議会大学分科会大学院部会による「2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿」のなかにはリカレント教育の必要性と充実が含まれています。本研究科ではこれまでに多くの社会人を受け入れ、「昼夜・土曜開講」や「長期履修制度」、さらに「遠隔授業」など社会人が学びやすい環境づくりに取り組んできました。本研究科では、これからも自立した学生を社会に送り出すため、「主体的・論理性・実行力」を培う教育・研究に取り組んで参ります。

研究科長
渡邊　完児

教育の方針 Curriculum Policy

「共通科目」と「各分野科目」で開講する特論、演習、実習を通して**「知識・理解」、「技能・表現」、「思考・判断」、「態度・志向性」**を身につけ、「論文作成研究科目」では修士論文の作成に向けた研究計画立案、予備実験・調査、本実験・調査などの研究活動に取り組みます。

1 スポーツ教育学分野

健康およびスポーツを対象とした教育課題について、学校教育のみならず地域社会も含めた、また幼児から高齢者を射程に入れた幅広い専門的知識を高めることを目指す。それらの知識をふまえ、科学的かつ実践的な指導力を有した、健康・スポーツ分野での教育のスペシャリストを養成する。

2 スポーツ科学分野

スポーツ科学分野は、スポーツ文化学、健康行動科学、コーチング、レジャー・レクリエーションの専門知識を高め、高い指導力を有した運動指導のスペシャリストを養成する。また、スポーツ動作、技術、心理および体力を科学的手法を用いて分析・評価し、競技種目特性に応じた適切なトレーニングプログラムやコンディショニングプログラムを立案・指導できるスペシャリストを養成する。

3 スポーツマネジメント学分野

スポーツマネジメント分野は、経営学、マーケティング論、イベント学などの専門知識を高め、スポーツイベントの企画・運営、スポーツ組織の戦略・財務、スポーツによる社会課題の解決などを立案、実践できるスポーツマネジメントのスペシャリストを養成する。

4 健康科学分野

健康科学分野は医学、理学療法学、健康科学などの専門知識を高め、問題解決能力と研究能力を有した健康をサポートできるスペシャリストを養成する。

求める学生像 Admission policy

健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする意欲

×

運動療法に対して、幅広い年齢層における疾病の一次予防を目的とした運動処方を実施し、二次予防として種々の病態に相応しい高度な医科学的知識に加えて行動科学的なアプローチに精通しようとする**健康運動指導士や健康運動実践指導者**、さらに**管理栄養士などの資格を有する者**

科学的理論に裏付けられた運動発達のプロセスやトレーニングの原則、スポーツ傷害の予防および回復に関する高度な医科学的知識と能力を兼ね備え、体育授業やスポーツ行事、運動部活動などの指導をしようとする**保健体育教員の資格を有する者**

健康や体力、スポーツトレーニングに関する知識と能力を兼ね備え、リハビリテーションを通して臨床現場や地域社会で高い問題解決能力と技術を用いて指導的役割を担おうとする**リハビリテーション専門職種の資格を有する者**、さらに**スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野で活躍しようとする者**

授業科目

必・選別	分　野	科　目	単位数
必修	研究科目 論文作成	課題研究Ⅰ	4
		課題研究Ⅱ	4
	共通	健康・スポーツ科学研究法	2
		身体運動評価学実習	1
選択	スポーツ教育学	保健体育科教育学特論	2
		保健体育科教育学演習	1
		スポーツ教育学特論	2
		スポーツ教育学演習	1
	スポーツ科学	運動生理学特論	2
		運動生理学演習	1
		健康行動科学特論	2
		健康行動科学演習	1
		レジャー・レクリエーション学特論	2
		レジャー・レクリエーション学演習	1
		運動制御学特論	2
		運動制御学演習	1
		スポーツ心理学特論	2
		スポーツ心理学演習	1
		スポーツコーチング特論	2
		スポーツコーチング演習	1
		スポーツ文化学特論	2
		スポーツ文化学演習	1
	スポーツマネジメント学	スポーツビジネス特論	2
		スポーツビジネス演習	1
		スポーツマーケティング特論	2
		スポーツマーケティング演習	1
		スポーツマネジメント特論	2
		スポーツマネジメント演習	1
		スポーツイベント特論	2
		スポーツイベント演習	1
	健康科学	スポーツ医学特論	2
		スポーツ医学演習	1
		運動機能障害学特論	2
		運動機能障害学演習	1
		分子機能回復学特論	2
		分子機能回復学演習	1

募集人数

20 名

取得できる学位

修士（健康・スポーツ科学）

取得可能な資格

中学校教諭専修免許状（保健体育）
高等学校教諭専修免許状（保健体育）
※免許状取得に必要な科目及び単位（24単位）を修得した者

授業料（2024 年度の例）

605,000 円
（教育充実費 108,000 円は別途）

履修方法と修了要件

修士課程は 2 年以上在学して、30 単位以上（他専攻科目を含む）を修得する。

専任担当教員・研究テーマ

教員名／研究テーマ／主な担当科目

スポーツ科学分野

渡邊　完児 教授 研究科長　運動生理学特論

1. 身体分節体積の計測精度に関する研究
2. 簡便な身体組成評価法の開発
3. 種々の運動様式と脂質代謝の関連

スポーツ教育学分野

中西　匠 教授 専攻長　スポーツ教育学特論

1. 運動会・体育祭の教育価値－体育祭が「自治」を生み出すしくみ－
2. 教科外体育の教育課題－総合的な実践の場として組織・運営能力の育成－
3. スポーツの主体者形成論の今日的課題－クラブ論を中心に－

玉腰　和典 講師　保健体育科教育学特論

1. 保健体育科教育の授業研究
2. 身体運動文化を学ぶ保健体育科の教育内容研究
3. 体育授業における戦術・技術認識の形成過程の研究

スポーツ科学分野

中村　哲士 教授　レジャー・レクリエーション学特論

1. レジャー・レクリエーションの認識と生活化に関する研究
2. 地域・職域に貢献するレクリエーション・リーダーに関する研究
3. ニュースポーツの類型と効力に関する研究

松本　裕史 教授　健康行動科学特論

1. 運動・身体活動の参加，継続に関する心理・行動科学的研究
2. 運動・身体活動のモチベーションに関する研究
3. 運動・身体活動のナッジに関する研究
4. スポーツ指導者の統制的コーチ行動に関する研究

伊東　太郎 教授　運動制御学特論

1. 糖尿病性抹消神経障害患者の歩行と病態進行
2. 先行随伴性姿勢調節とスポーツパフォーマンス向上との関連
3. コオーディネーショントレーニングの開発

坂井　和明 教授　スポーツコーチング特論

1. 球技スポーツにおける戦術を効果的に遂行するための実践知に関する研究
2. 問題解決型思考の手順に沿った効果的なスポーツコーチング方法
3. 球技スポーツの専門的持久力に関する研究

田中　美吏 准教授　スポーツ心理学特論

1. プレッシャー下における運動制御機能（知覚・認知、中枢神経活動、自律神経活動、筋活動、キネマティクス、姿勢制御、パフォーマンス結果）を解明する実験研究
2.「イップス」の現象理解および対処法に関する研究
3. アスリートの競技力向上に対するメンタルサポートの実践研究

教員名／研究テーマ／主な担当科目

スポーツ科学分野

渡邉　昌史 教授　スポーツ文化学特論

1. 文化としてのスポーツ理解
2. スポーツにみる文化変化
3. 世界各地にみる民族スポーツとアイデンティティ
4. 遊びの社会化・文化化
5. 武道による文化教育
6. エスノサイエンス（各民族・集団で独自に認識される）の身体

スポーツマネジメント学分野

久富　健治 教授　スポーツビジネス特論

1. イノベーションの可能態としてのスポーツ産業に関する研究
2. スポーツ組織のガバナンスと社会的責任に関する研究
3. スポーツ経営学の社会科学としての独自性に関する研究

穐原　寿識 准教授　スポーツマーケティング特論

1. 無形財におけるサービスマーケティングの研究
2. 流行の発生と消費行動の変化に関する研究
3. マーケティングミックスにおける動態的変化に関する研究

柳沢　和雄 教授　スポーツマネジメント特論

1. メガスポーツイベントと地域再編に関する研究
2. 総合型地域スポーツクラブと社会的ネットワーク形成に関する研究
3. フィットネスクラブのマーケティングに関する研究

工藤　康宏 教授　スポーツイベント特論

1. スポーツやスポーツツーリズムによる地域への影響
2. スポーツツーリストの行先選好・参加行動
3. 体育・スポーツ施設の管理運営
4. スポーツイベントのマーケティング
5. プロスポーツチームやスポーツイベントと地域活性化

健康科学分野

松尾　善美 教授　運動機能障害学特論

1. 心大血管疾患リハビリテーションに関する研究
2. 呼吸障害の評価と治療に関する研究（嚥下機能も含む）
3. 虚弱高齢者に関する研究

山添　光芳 教授　分子機能回復学特論

1. ゲノム編集技術を用いて、速筋および遅筋繊維の生細胞イメージングを行うシステムの開発
2. 低出力パルス超音波（LIPUS:Low-intensity pulsed ultrasound）を利用して、筋芽細胞の分化を促進する研究

鳥塚　之嘉 教授　スポーツ医学特論

1. 大学女子アスリートにおける Female Athlete Triad の実態調査
2. 高校野球投球障害に関する疫学調査
3. 膝蓋大腿関節の形態、膝蓋骨の動態解析

修士論文

最近の修士論文のテーマ

スポーツ教育学分野
- 小学校「ボール運動」領域における構成主義的なカリキュラム開発の試み―ICT 活用による学びの過程の変化に着目して―
- 中学校保健体育科教育における「生涯スポーツ実践力の育成」―「主体的に学習に取り組む態度」の育成との関連から―
- 体育授業における「中１ギャップ」の実態―小学校から中学校への移行期を通した子どもたちからの観察

スポーツ科学分野
- 小学生（低学年）における捕球技能に関する基礎的研究
- ソフトボールの守備場面におけるプレッシャー下での思考に関する質的研究―失敗後のパフォーマンスの成否に着目して―
- 大学女子跳躍選手の連続跳躍踏切時の床反力に及ぼす空輪動作の介入効果

スポーツマネジメント学分野
- スポーツ産業におけるブランド戦略の深化―顧客理解と市場創造―
- 健康・スポーツ産業における商品開発の戦略的変化の分析―関係性マーケティングへの回帰―
- 国内スポーツ産業におけるアスレジャーの成長戦略とその有効性についての分析

健康科学分野
- 透析患者の身体活動量と運動機能、健康関連 QOL の関連性
- 虚血性心疾患発症リスク比の違いによる運動の動機付けへの影響についての一考察
- 在宅要介護高齢者の転倒要因についての考察―転倒予防自己効力感と注意・遂行機能に着目して―

修士の学位授与までの流れ

進捗状況報告会 → 学会発表・中間発表会 → 修士論文作成 → 修士論文公聴会 → 修士の学位授与

修了生からのメッセージ

成田　厚子さん

2018 年度スポーツ科学修士修了

勤務先　フリーランス（スポーツ栄養士）

スポーツ栄養士として開業しプロフェッショナルとして自己研鑽してきた中で、多くの情報を精査する為に研究論文がいかに重要かを感じていました。そこで一念発起し、仕事量をセーブして 2年間で社会人として修士を取得することを決意致しました。1年目は単位取得のために多くの講義を受けましたが、実際のスポーツ現場ですぐに生かせる内容ばかりなので、ずっと学んでいたいと思うほどでした。論文については指導教員の先生の助言によって思い描いていた研究計画が進み、大きな壁だと思っていた膨大なデータ処理も統計も実際にやってみると楽しく、充実した時間を過ごせました。社会人になってからの学びは、即仕事に生かせるという点で学生の時よりも多くのことを吸収できたと実感しています。

齋藤　遥さん

2023 年度修了生

勤務先　ラフィネ
アルデ新大阪店

大学時代に打ち込んだ陸上競技を続けたい、専門種目である三段跳の研究をして、自分の競技力向上に繋げたい思いから大学院進学を決めました。大学で専門でなかった分野で難しいこともありましたが、1から勉学に励みました。今まで客観視しかできていなかったものが、バイオメカニクスの観点から見ることでより深く追求することができました。現在では一般企業ではありますが、現役で競技を続けています。2年という短い期間の中でしたが、指導教員の力も借りながら論文を作成できたことが競技面でも生活面でも私のこれからの人生の糧になると思います。

学生生活

スポーツを継続しながら学びたいあなたをサポート

昼夜開講　スポーツ推薦入試あり　奨学制度あり

スポーツを継続しながら学ぶ大学院生(1年次)の1週間のタイムスケジュール例

安達　杏香さん

私は自身の競技に活かせるような勉強や研究をしながら、陸上競技を続けるために大学院に進学しました。大学院は少人数のため質問がしやすく、知識が身につきやすいです。研究面では、学会発表と修士論文の完成を目標に、競技面では自分の可能性を信じ努力しています。

働きながら学びたいあなたをサポート

昼夜開講　長期履修学生制度　社会人特別選抜　学院内保育ルームあり　アクセス抜群

働きながら学ぶ大学院生の１週間のタイムスケジュール例

4 年間の長期履修学生制度利用

三戸口　聖子さん

私は公立中学校の教頭として勤務していた時に、学校経営に活かせる実践について研究をしたいと思い大学院に入学しました。当時（コロナ禍）の大学院の授業では土曜日は対面、平日はオンライン等を選択することで仕事との両立が可能となりました。また授業を通して多くの先生方や仲間と出会い、ディスカッションを行う中で視野が広がりました。そして研究に役立つ知識を得ることにつながり、私の財産となっています。学びを深めるための自習室等、学習環境も整っており、仕事と研究のメリハリをつけて大学院生活を送ることができました。

2025 年度 大学院入試

推薦入試

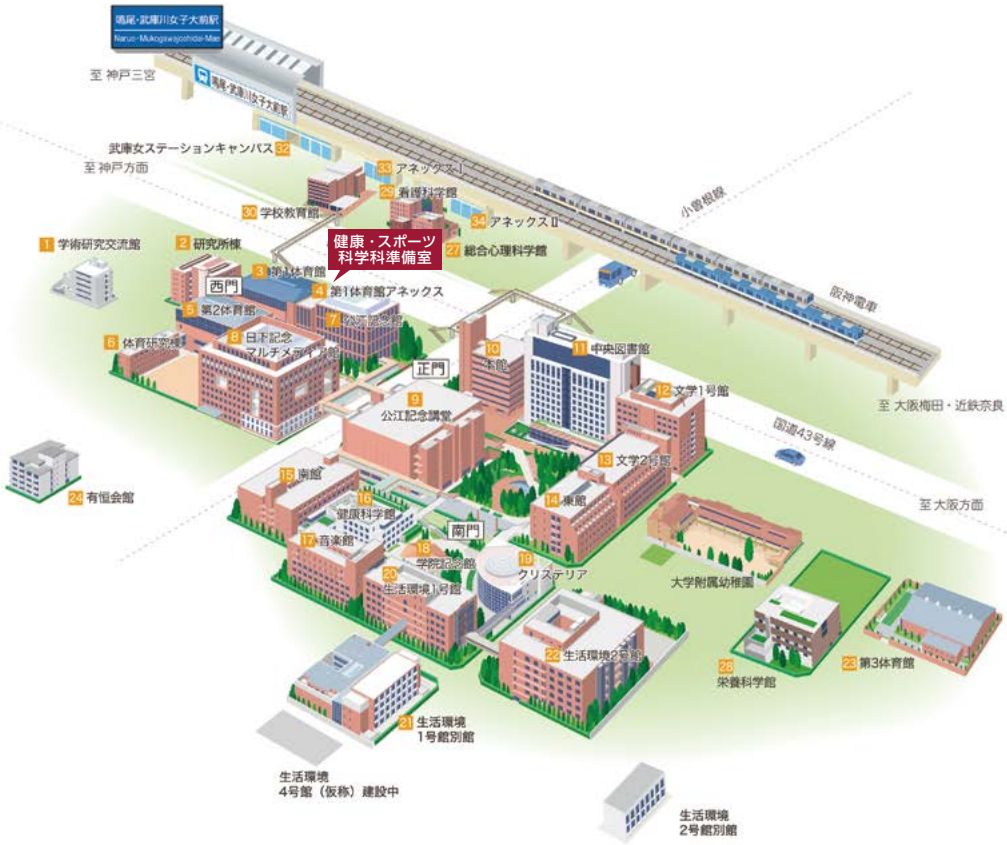
出願期間	試験日	試験科目
【 6月募集】 2024年 5月23日（木）～2024年 5月30日（木）（消印有効）	2024年 6月15日（土）	「小論文」「面接」
【10月募集】 2024年 9月 2日（月）～2024年 9月12日（木）（消印有効）	2024年 10月5日（土）	
【 2月募集】 2025年 1月10日（金）～2025年 1月23日（木）（消印有効）	2025年 2月15日（土）	

一般入試および社会人特別選抜

出願期間	試験日	試験科目
【前期募集】 2024年 9月 2日（月）～2024年 9月12日（木）（消印有効）	2024年 10月5日（土）	**一般入試** 「小論文と健康科学に関する共通問題、および英語の筆記試験」「面接」 ※ただし後期募集においては英語を実施しない **社会人特別選抜** 「小論文」「面接」
【後期募集】 2025年 1月10日（金）～2025年 1月23日（木）（消印有効）	2025年 2月15日（土）	

※入試センターにて過去１年分の入試問題を配布しています。試験の準備にご利用下さい。
入試センター（TEL.0798-45-3500）

案内地図 Access Map



武庫川女子大学　健康・スポーツ科学科準備室

〒663-8558　兵庫県西宮市池開町 6-46　電話：0798-45-9525（直通）
メールアドレス：ul11@mwu.jp（ユーエル 11）